



- AS/EN/JIS Q 9100:2016改定
FAQ(よくある質問)

はじめに

AS/EN/JIS Q 9100シリーズは、航空宇宙防衛産業の市場ニーズの変化に伴い、新しい品質マネジメントシステム(Quality Management System / QMS)を導入した、改定版が発行されました。この改定は2015年に改定された ISO 9001:2015に基づいて作成されており、より良い品質マネジメントシステムが構築できるように策定されています。

新すでにAS/EN/JIS Q 9100/9110/9120を取得されている組織は、2018年9月までに改定版への移行対応をする必要があります。

今回の改定は、皆様の品質マネジメントシステム(QMS)を改善するための絶好の機会になります。これは、単なる品質マネジメントシステムツールではなく、事業パフォーマンスを効率的に向上させるために設計された運用ツールです。

改定版を通じて、リスクマネジメントの強化、リーダーシップの明確化、新しいハイレベルストラクチャー(HLS)による他規格と共通の構造設計、また事業プロセスと品質マネジメントシステムの統合によるビジネス戦略の強化など、昨今のビジネス市場における様々なニーズに対応できるように策定されています。

BSIでは改定版への移行に向けて、重要なポイントと各実施事項を説明させていただきます。

皆様のビジネスに組織レジリエンスを与え、高い顧客満足度と継続的改善が実現できるようにサポート致します。

**組織レジリエンスに関してはこちらのWEBサイトをご参照ください<<http://www.bsigroup.com/ja-JP/our-services/Organizational-Resilience/>>

このガイドでは、皆様が改定された規格に対応を開始するにあたり、よくお問い合わせをいただく内容にお答えしてまいります。

➤ 規格に関して

AS/EN/JIS Q 9100シリーズとISO 9001:2015の概要はどのように情報入手できますか？

ISO 9000:2015に関しては既に発行されており国際規格(対訳版・和文)は下記の通り販売されています。

ISO 9000:2015	日英対訳冊子	38,000 円 (税抜)
	日英対訳冊子	32,000 円 (税抜)
	和文	4,000 円 (税抜)
	和文	3,600 円 (税抜)

www.jsa.or.jp/store/index.html

改定版の新たな構造についての情報はどこで手に入りますか？

改定版 AS/EN/JIS Q 9100シリーズは ISO 9001:2015に沿って策定されています。ISO 9001:2015は、ISOによって規定された新たなハイレベルストラクチャー(HLS)である附属書SLに沿って作成されています。

BSIジャパンのWEBサイト上での資料ダウンロードサイトにて「附属書SLの紹介」というホワイトペーパーをご用意しています。そちらもぜひご参考ください

➤ 規格の変更点

改定版AS/EN/JIS Q 9100シリーズではどの部分に変更されるのでしょうか？

ISO 9001:2015で規定された新たなハイレベルストラクチャー(HLS)への統合だけではなく、新しく定義された用語や要求事項がいくつかあります。例えば、模倣品への対応、製品安全性の向上、倫理的な行動の再確認、リスクや人的要因、データ管理、製品のライフサイクルに対するコンフィギュレーション管理の強化等が挙げられます。

またいくつかの項目において「文書化した情報」の保持が要求事項として求められています。BSIではWEBサイトや資料を通じて、皆様が効率よく要求事項を理解できるようにサポート致します。

「リスクや機会」を特定するという新たな要求事項がありますが、どのように対応したらよいのでしょうか？

リスクベースに基づいた考え方は、より明確に記載されており、マネジメントシステムの中で幅広く範囲で適用されています。各組織が意図したマネジメントシステムを達成するために、関連した「リスクと機会」をリスクベースに基づいたアプローチによって特定し、それに対しての計画とアクションの実行が要求されています。

完全なリスク評価は本規格では要求されていませんが、リスク管理を行うためのフレームワークが提供できる ISO 31000:2009の使用は有効かもしれません。

➤ 規格の変更点

ISOの規格では、管理責任者の要求事項が含まれていません。このことは改定版 AS/EN/JIS Q 9100シリーズでも同様でしょうか？

またBSIでの審査時にどのような影響がありますか？

新たな改定版 AS/EN/JIS Q 9100シリーズでは、トップマネジメントに対してマネジメントシステムへの参画を大きく要求しています。トップマネジメントがマネジメントシステムに大きく関わることで、組織のプロセス、方針や目標が、組織の戦略的方向性に沿っていることを確実にしなければならないといった要求事項があるためです。

審査員の訪問時にこれが達成されるかを理解するため、トップマネジメントへのインタビューを実施する必要があります。またBSIでは審査をスムーズに進めるために貴組織の担当者へのご協力をお願いしています。

従業員50名未満の中小企業です。
AS/EN/JIS Q 9100シリーズの改定は関係あるのでしょうか？

改定された規格は、大規模な多国籍企業だけでなく、同時に中小企業にも関係があります。企業規模にかかわらず、改定版規格は貴組織のビジネスの改善を推進し、顧客満足度を高めるツールとなりえます。

品質マニュアルをまだ維持しなければなりませんか？

ISO 9001:2015では品質マニュアルの詳細な要求事項は無くなりましたが、改定版 AS/EN/JIS Q 9100 シリーズでは箇条4において「組織は文書化された情報を作成し、保持する必要があります…」との記載があり、これは品質マニュアルと呼べるものになります。そのため皆様が現在所有している品質マニュアルは再度見直して頂く必要があります。

見直しの際に、新しい品質マネジメントシステムの要求事項に影響が出てくる場合、または要求事項との関連が無く除外が必要な場合等は、再度改定して頂く必要がある場合があります（規格の箇条番号は変更されています）。

早期準備開始段階において、BSIから何かヒントはありますか？

変更準備段階における推奨できる活動は下記の通りです。

- 現在のアプローチを再度見直し、必要に応じて、品質マネジメントシステムの最適化と再構築を実施する
- リスクと機会、リーダーシップを考慮した品質マネジメントシステムの導入を仮定して、組織の中核事業を再検証する
- 多くの変更においてビジネスリーダーと連携を行うことで、ビジネスリーダーが管理しなければならない課題とその影響を理解させる
- プロセスの識別、特定、管理、及びマネジメントのアプローチをレビューする
- 「リスクと機会」をマネジメントするというコンセプトから、どのように適用し利益を得られるかを検証する
- 1つ以上の規格を認証取得している場合、各規格のマネジメントシステムの統合した際に得られる効果を検証してみる

BSIジャパンから資料やホワイトペーパーをダウンロードする
<http://www.bsigroup.com/ja-JP/our-services/downloads/>

➤ 他規格への変更について

現在、どの規格が新たな附属書SL(HLS)に沿って改定がされていますか？

ISO 22301:2012 – 事業継続マネジメント
(附属書SLに沿って構成された最初の規格です)

ISO 9001:2015 – 品質管理マネジメント

ISO 27001:2013 – 情報セキュリティマネジメント

ISO 14001:2015 – 環境マネジメント

ISO 39001:2012 – 道路交通安全マネジメント

ISO 55001:2014 – アセットマネジメント

TS 16949を認証取得していますが、この規格も改定される予定はありますか？

2016年10月に新しく IATF 16949 が発行されました。すでに ISO/TS 16949:2009 を取得されている組織は、2018年9月までにIATF 16949への移行対応をする必要があります。

BSIジャパンでは移行に関する情報や資料ダウンロードサービスを提供しております。

詳細が判明次第、随時WEBサイトにてご案内致します。

<http://www.bsigroup.com/ja-JP/TS16949/ISOTS-16949/>

ISO 9004は継続して利用可能ですか？

はい。この規格は、事業マネジメントに関する広範囲な課題に対する品質マネジメント・アプローチを適用する方法と、将来に向けた持続可能な事業の構築に関する有用な情報を提供しています。

➤ 移行プロセス

どれくらい早く移行プロセスをスタートさせられますか？

すぐに移行への準備を開始頂けます。BSIのWEBサイトでは新しいマネジメントシステム(QMS)に関するISO 9001:2015の資料や、附属書SL(HLS)に関する資料のダウンロードがご利用いただけます。

BSIでは引き続きWEBサイトや資料を通じて新しい情報を提供し、担当される方へサポートさせていただきます。

<http://www.bsigroup.com/ja-JP/our-services/downloads/>

現行の AS/EN/JIS Q 9100 シリーズは、いつまで審査の適用規格として有効ですか？

現行の AS/EN/JIS Q 9100 シリーズは、2017年6月まで審査の適用規格として有効になります。その後は、改定版 AS/EN/JIS Q 9100シリーズが適用規格になります。出来るだけ早い段階で、移行への計画を実施することをお奨め致します。改定版への移行は2018年9月14日までに完了させる必要があります。その後、旧版の AS/EN/JIS Q 9100シリーズの認証効力は取り消されることになります。

2017年の再認証審査で、改定版へのアップグレードはできますか？

はい。貴組織のシステムが、改定版の全ての要求事項を満たしていることを実証することが条件となります。移行の準備状況や移行プラン作成に関してご不明点があれば、BSIジャパンへご連絡下さい。

移行にあたって、審査工数追加と審査コストの追加が発生しますか？

お客様がサーベイランス審査（再認証審査を含む）において移行される際に、新しい要求事項のレビューと審査のために追加の審査工数が必要となります。

サーベイランス審査よりも早く移行審査は行えますか？

規格発行後、移行期間が始まった段階であればいつでも移行審査を受けることが可能です。もちろんサーベイランス審査(再認証審査を含む)を待たずに移行審査を受けることも可能です。その場合、特別訪問としての移行審査工数が必要であり、追加の費用負担が生じることとなります。

改定版の AS/EN/JIS Q 9100 シリーズの審査はどの点が変わるのですか？

BSIの審査方法は、基本的に変更される予定はありません。以前同様にトップマネジメントの方にインタビューをさせていただきますが、前回よりも、トップマネジメントの参画や責任、またリスクに関する質問に比重を置いたインタビューになります。

審査の前に、お客様の移行の進捗状況等、お気軽にご相談下さい。BSIの担当者が、移行対応に必要な事項を説明させていただきます。

審査報告書に関して何か変更点はありますか？

貴組織の審査報告書はOASISデータベースにて作成・保存されます。同様に、不適合の処理や是正処置に関しても、データベース上にて対応できるようになります。

もし適用範囲を拡大したい場合はどうすればいいですか？2016年改定版で受審しなければなりませんか？

認証の適用範囲の拡大はいつでも受審可能です。どの規格が適用されるかは実施時期によって異なります。仮に、2017年以降に適用範囲を拡大したい場合は、2016年改定版での受審になります。また適用範囲の拡大は、通常の審査時間よりも時間がかかります。お客様にとってどのタイミングでの受審が適切かご不明な場合は、BSIまでご連絡下さい。

現在、現行の AS/EN/JIS Q 9100 シリーズを導入準備、または認証取得を検討中ですが、改定版への対応はどのようにすべきでしょうか？

既に現行の AS/EN/JIS Q 9100 シリーズにて導入準備を進めている場合は、BSIは2017年6月以前であれば、認証可能です。

しかし、現行 AS/EN/JIS Q 9100 シリーズの認証取得を早急に求められているといった状況でないのであれば、新しい品質マネジメント(QMS)に沿った改定版 AS/EN/JIS Q 9100 をご検討頂ければと思います。審査への準備が整い次第、改定版への初期審査を始めさせていただきます。現在 AS/EN/JIS Q 9100を導入準備を特に行っていないのであれば、改定版発行時に規格書をご購入頂き、改定版取得に向けて準備して頂ければと思います。

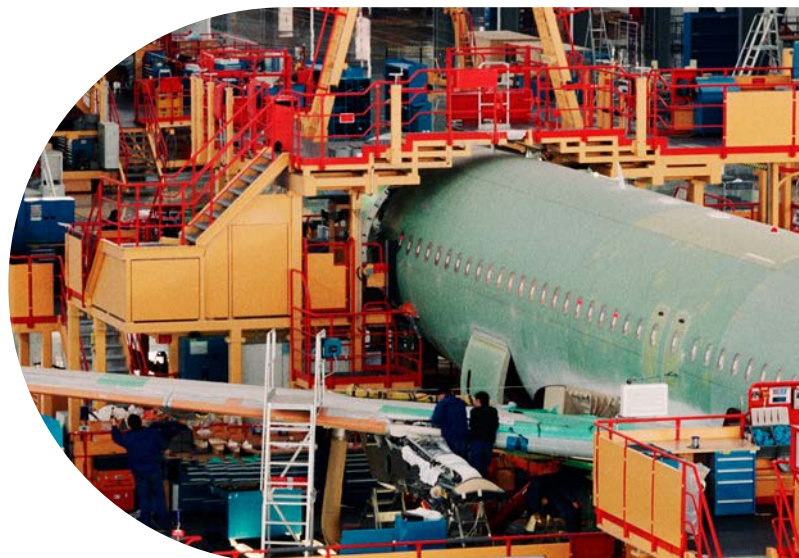
自組織の認証について質問があるのですが、誰に相談したら良いのでしょうか？

下記へお気軽にご連絡下さい。

◆お問い合わせ先◆ 営業本部

TEL: 03-6890-1172

e-mail: Sales.Japan@bsigroup.com



➤ BSIのサポート

この移行プロセスを通じて、どのようにBSI日本はサポートしてくれますか？

BSI日本では、改定版 AS/EN/JIS Q 9100 シリーズの情報を随時提供していきます。

BSI日本の審査員はAS/EN/JIS Q 9100 シリーズの厳格なトレーニングプログラムを受講します。新たな規格から得る最大限の利点を、皆様に提供できるように審査を実施させていただきます。

またBSIではWEBサイトでの情報共有や資料ダウンロード等、様々なサポートをさせていただきます。お客様の状況にご考慮の上、ご使用願います。

➤ サポート資料

移行にあたって、様々なサポート資料をご用意しています。下記BSI日本資料ダウンロードサイトより入手ください。

www.bsigroup.com/ja-JP/our-services/downloads/

新たなISO規格におけるリーダーシップの重要性

新たな規格は、リーダーシップだけを取り上げた箇条があり、これが今回の最も大きな変更の1つとなっています。

品質マネジメントシステム(QMS)の実施、組み込み、伝達、維持を確実にするうえで、マネジメントがより積極的な役割を求められるようになった理由をこの資料で説明しています。

AS/EN/JIS Q 9100 シリーズ 航空・宇宙・防衛サービスのご案内

AS/EN/JIS Q 9100 シリーズ・航空宇宙品質マネジメントシステムに関する利点、運用の重要なポイントを説明しています。

附属書SLの紹介

コアテキスト、共通の用語と定義、今後すべてのマネジメントシステム規格のための骨格となる新たな汎用フレームワークである附属書。

このホワイトペーパーで詳細説明をしていますので、構造についての理解を深めることができます。



Why BSI?



BSI (英国規格協会) は、AS/EN/JIS Q 9100 シリーズの最前線に立ってきました。AS/EN/JIS Q 9100 シリーズは、BSIが1994年から国際委員会の事務局を務めているISO 9001をベースに策定されたものであり、ISO 9001は今日、世界中で最も認められているマネジメントシステムです。故に、BSIはお客様の新たな規格への移行を支援するにあたって最適な環境にいます。

BSIは、規格を通じてお客様のビジネスの成功をけん引し、より卓越したビジネスの創造を目指しています。私たちは、より良いパフォーマンス、組織レジリエンスの構築、リスク管理を通じて、継続的改善を実施し、エクセレンスの習慣へと導きます。

BSIはエキスパートとして、1世紀以上に渡り、より卓越した方法を人々や製品に根付かせてきました。世界182ヶ国、約80,000の組織を手助けしてきた経験を基に、世界中のあらゆる組織に向けてエクセレンスなサービスを提供し続けていきます。

BSIの製品及びサービス

私たちは、サポート製品とサービスのユニークな組み合わせを、知識、保証、コンプライアンスという3つの流れのなかでご提供しています。

知識

BSIは、ビジネスエキスパート、政府機関、事業者団体、消費者グループと協力し、組織が成功するうえで必要なベストプラクティスを見つけ、知識を構築しています。実際、世界で最も認められた10の規格のうち、BSIが起源で作成されたものは8規格になります。

保証

プロセスや製品が特定の規格に適合していることを証明する独立した評価を通じ、お客様のパフォーマンスの卓越性が保証されます。BSIは、お客様が自らのパフォーマンスを理解するお手伝いをすることで、組織の内側からできる改善分野を洗い出します。

コンプライアンス

お客様が実際に長期的な利益を得るためには、規格を継続的に順守する必要があります。継続することで規格の順守は確固とした習慣になります。BSIでは、付加価値及び差別化されたマネジメントツールを提供するだけでなく、規格やその導入方法を理解するのに役立つトレーニングを提供することで、お客様の継続的な規格の順守プロセスをお手伝いしています。

bsi.

BSIグループジャパン株式会社
T: +81 (0)3 6890 1172
www.bsigroup.com/ja-JP/

最新情報は下記 Website をご覧ください。

www.bsigroup.com/ja-JP/AS9100/AS9100_revision/